

## SETTING SYSTEM FOR MEMORY ACCESS TIMING

Patent Number: JP63217452  
Publication date: 1988-09-09  
Inventor(s): SAITO TAKASHI  
Applicant(s): MITSUBISHI ELECTRIC CORP  
Requested Patent: ☐ JP63217452  
Application Number: JP19870051509 19870306  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G06F12/16 ; G11C7/00 ; G11C11/34 ; G11C29/00  
EC Classification:  
Equivalents:

### Abstract

**PURPOSE:** To automatically set the access timing of a memory by changing successively the set value of a register by a program and giving an access to memory based on the set value obtained when the coincidence of comparison is obtained between read data and write data.

**CONSTITUTION:** An optimum value is set at each of registers 21-24 and a memory (RAM 1) receives an access based on each set value of these registers to write and read the test data. These test write and read data are compared with each other for each access action carried out based on each set value. When the coincidence is obtained between write and read data of the memory (RAM 1), the relevant value is set at the registers 21-24 respectively as the final set value. Then the access timing is decided based on said final set value and the memory (RAM 1) receives accesses in this timing for prescribed data writing and reading operations. In such a way, the access timing of the RAM can be automatically set with no intervention of man power.

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 特許出願公開

⑯ 公開特許公報(A)

昭63-217452

⑮ Int.Cl.<sup>4</sup>

G 06 F 12/16  
G 11 C 7/00  
11/34  
29/00

特許記号

3 1 0  
3 1 3  
3 7 1  
3 0 3

庁内整理番号

A-7737-5B  
7341-5B  
A-8522-5B  
H-7737-5B

⑰ 公開 昭和63年(1988)9月9日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全8頁)

⑱ 発明の名称 メモリアクセスタイミング設定方式

⑲ 特 願 昭62-51509

⑳ 出 願 昭62(1987)3月6日

㉑ 発 明 者 斎 藤 隆

神奈川県鎌倉市上町屋325番地 三菱電機株式会社計算機製作所内

㉒ 出 願 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

㉓ 代 理 人 弁理士 大岩 増雄

外2名

# 明 細 書

## 1. 発明の名称

メモリアクセスタイミング設定方式

## 2. 特許請求の範囲

メモリのアクセスを行う論理回路において、プログラムによって任意に値を設定できるレジスタを設け、このレジスタへの設定値をプログラムによって順々に変えてゆき、メモリへのテストデータの書き込み、読出し、書き込みデータと読出しデータとの比較を繰り返して行い、比較の結果が一致した時の設定値をレジスタに設定しておき、この設定値に基づいてメモリのアクセスを行うことを特徴とするメモリアクセスタイミング設定方式。

## 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明はデータ処理装置などに備えられるランダムアクセスメモリ(以下RAMと称す)のアクセスタイミングを設定するためのメモリアクセスタイミング設定方式に関するものである。

(従来の技術)

第6図は従来のメモリアクセスタイミング設定方式を採用した論理回路のブロック図である。図において、1はRAM(ダイナミックRAMを用いた場合を例にとる)、2はアドレスマルチプレクサ、3はRAM1とアドレスマルチプレクサ2とを接続するマルチプレクスド・アドレスバス、4はアドレスマルチプレクサ2に接続されるアドレスバス、5はRAM1に接続されるデータバス、6はメモリ制御リングである。また、7はローアフレクセレクト信号(RAS信号)生成用のフリップフロップ(以下RAS用フリップフロップと称す)、8はカラムアドレスセレクト信号(CAS信号)生成用のフリップフロップ(以下CAS用フリップフロップと称す)、9はカラムセレクト信号(COLS信号)生成用のフリップフロップ(以下COLS用フリップフロップと称す)、10はANDゲート、11、12、13はORゲート、14、15、16はNORゲート、17、18、19、20はメモリ制御リング6のどの出力を使用するかを選択するためのジャンパ線であ

る。なお、説明を簡単にするためRAM1のリフレッシュ用の論理回路は省略する。

次に動作について説明す。説明の中で「1」は有意もしくはハイレベルを、「0」は非有意もしくはローレベルを意味する。メモリ制御リング6はラインL1のメモリアクセスモード信号が「1」になるとイネーブルされて動作可能状態となり、ラインL2の基本クロックに同期して出力T0、T1、...、Tk、...、Te、...、Tm、...、Tn、...、Te-1、Teがそれぞれ順に「1」になるという形で状態が遷移する。また、メモリアクセスモード信号が「0」になると、メモリ制御リング6の出力T0~Teは全て「0」になる。各フリップフロップ7、8、9はラッチした信号を各出力端子1から出力し、そのラッチした信号の反転信号を各出力端子0から出力する。RAM1の端子RAS、CAS、WEにそれぞれ与えられるRAS信号、CAS信号、WE信号は「1」で有意とする。また、この従来例の場合、ジャンパ線17、18、19、

20の設定は人手により行い、メモリ制御リング6の出力Tk、Te、Tm、Tnがそれぞれ選択されたものとする。

ここで第4図に示すタイミングチャートを参照してRAM1への書き込み動作を例にとって説明する。メモリアクセスが開始されると、ラインL1のメモリアクセスモード信号及びラインL3のライトモード信号が「1」になる。この時、アドレスがアドレスバス4に与えられ、アドレスマルチプレクサ2によりローアドレスが選択されてマルチプレクスド・アドレス・バス3上に出力される。また、この時、書き込みデータがデータバス5上に与えられる。

このようなローアドレス及び書き込みデータが与えられ、メモリ制御リング6は前述したようにラインL1のメモリアクセスモード信号が「1」になっているので動作を開始し、出力T0、T1、...、Tkが順次「1」になるという形で状態が遷移する。そして出力Tkが「1」になると、ジャンパ線17及びORゲート11を経由してRA

S用フリップフロップ7の端子Dに「1」の出力Tkが与えられ、メモリ制御リング6の出力Tk+1が「1」になる時、RAS用フリップフロップ7の出力端子1から出力されるRAS信号が「1」になる。また、この時、RAS用フリップフロップ7の出力端子0から出力される反転出力は「0」となり、これによりNORゲート14の出力が「1」、ORゲート11の出力が「1」となって、メモリ制御リング6の状態が進んでもRAS用フリップフロップ7の出力、すなわちRAS信号は「1」にホールドされる。また、メモリ制御リング6の「1」の出力がT#からT#+1に遷移した時、前記と同様な動作によりCOLS用フリップフロップ9の出力であるCOLS信号が「1」になりホールドされる。このCOLS信号により、アドレスマルチプレクサ2はマルチプレクスド・アドレス・バス3にカラムアドレスを出力し、また、ANDゲート10の出力、すなわちRAM1の端子WEに与えられるWE信号が「1」となり、RAM1はライトモードとなる。

また、メモリ制御リング6の「1」の出力がTmからTm+1に遷移した時、前記と同様な動作によりCAS用フリップフロップ8の出力、すなわちCAS信号は「1」になりホールドされる。以上のようにRAS信号、CAS信号、WE信号、COLS信号が全て「1」となって、RAM1への書き込み条件が全て揃い、データの書き込み動作が行われ、メモリ制御リング6の状態が進み、出力Tn-1が「1」になった時点で書き込み動作が完了する。メモリ制御リング6の出力Tn、すなわちラインL4のメモリアクセス完了信号が「1」になり、次に出力Tn+1が「1」になろうとするところでラインL1のメモリアクセスモード信号及びラインL3のライトモード信号が「0」になり、また、NORゲート14、15、16及びORゲート11、12、13の出力が「0」になるので、RAS信号、CAS信号、COLS信号が「0」になり、RAM1への書き込み動作が終了する。なお、第4図に示すTWは、RAM1への制御信号（メモリアクセスモード信号、ライトモ

ード信号、RAS信号、COLS信号、CAS信号WE信号)によるライトモード条件成立期間である。

一方、RAM1に対する読出し動作時には、第5図に示すようにライトモード信号及びWE信号は「0」になり、メモリ制御リング6の出力 $T_{n-1}$ が「1」を出力した終了時点、すなわち出力 $T_n$ が「1」になる時点でRAM1から読み出される出力データが確定しているとし、出力 $T_n$ でデータバス5上のデータを取込む。そして、前述の書込み動作時と同様にメモリ制御リング6の出力 $T_{n+1}$ が「1」になろうとするとここで全ての制御信号が非有意となり、RAM1に対するリード動作は完了する。なお、第5図に示すTRは、RAM1への制御信号によるリードモード条件成立期間である。

(発明が解決しようとする問題点)

従来のメモリアクセスタイミング設定方式においては、RAMへのアクセスタイミングを決定する部分ジャンパ線による設定であったため、そ

のジャンパ線の設定に人手の介入が必要であった。また、一般にRAMには種々のアクセスタイミングがあり、使用するRAMの種類を変えたときにはアクセスタイミングを変更するためにジャンパ線の設定をやり直さねばならず、このため設定を誤ってRAMのアクセスが正しく行われなかったり、あるいは高速度な動作を行うことができるRAMを使用しているにもかかわらず、低速用のアクセスタイミング設定であるためにRAM本来の性能を落としてしまうなどの問題点があった。

この発明は上記のような問題点を解消するためになされたもので、RAMのアクセスタイミングの設定を人手の介入なしに自動的に行い、RAMの性能を十分に引き出すことができ、信頼性を向上させることができるメモリアクセスタイミング設定方式を提供することを目的とする。

(問題点を解決するための手段)

この発明に係るメモリアクセスタイミング設定方式は、メモリ(RAM1)のアクセスを行う論理回路において、プログラムによって任意に値を

設定できるレジスタ21、22、23、24を設け、このレジスタ21、22、23、24への設定値をプログラムによって種々に変えてゆき、メモリ(RAM1)へのテストデータの書込み、読出し、書込みデータと読出しデータとの比較を繰り返して、比較の結果が一致した時の設定値をレジスタ21、22、23、24に設定しておき、この設定値に基づいてメモリ(RAM1)のアクセスを行うことを特徴とするものである。

(作用)

この発明に係るレジスタ21、22、23、24にはプログラムによって任意の値が設定され、メモリ(RAM1)は設定された各設定値に基づいてアクセスされ、テストデータの書込み、読出しを行う。このテストデータの書込みデータと読出しデータとは各設定値に基づいたアクセス動作毎に比較され、メモリ(RAM1)の書込みデータと読出しデータとが一致した時、その値は最終の設定値としてレジスタ21、22、23、24に設定され、その後はその最終の設定値に基づい

てアクセスタイミングが決められ、メモリ(RAM1)はそのアクセスタイミングでアクセスされ、所定のデータの書込み、読出し動作を行う。

(発明の実施例)

以下この発明の一実施例を図に基づいて説明する。第1図はこの発明の一実施例に係るメモリアクセスタイミング設定方式を採用した論理回路のブロック図である。第1図において、第6図に示す構成要素に対応するものには同一の参照符を付し、その説明を省略する。第1図において、21はRAS信号生成タイミングを決めるためのレジスタ(以下RAS用レジスタと称す)、22はCOLS信号生成タイミングを決めるためのレジスタ(以下COLS用レジスタ)、23はCAS信号生成タイミングを決めるためのレジスタ(以下CAS用レジスタと称す)、24はメモリアクセス完了信号生成タイミングを決めるためのレジスタ(以下CPT用レジスタと称す)、25、26、27、28はメモリ制御リング6の $c+1$ 個ある出力 $T_0 \sim T_c$ の内の1個を選択して出力

するセレクトである。

次に動作について説明する。入手できたRAMが例えば5種類あり、そのRAMをアクセスタイムが違い順にRAM<sub>1</sub>、RAM<sub>2</sub>、RAM<sub>3</sub>、RAM<sub>4</sub>、RAM<sub>5</sub>とする。その各RAMに対しては第2図のタイミング図に示すようにRAS信号、COLS信号、CAS信号、メモリアクセス完了信号を出力すれば各RAMのアクセスは正しく行える。以下の説明はRAM<sub>1</sub>が実装された場合の動作を考える。

プログラムは、RAS用レジスタ21、COLS用レジスタ22、CAS用レジスタ23、CPLT用レジスタ24への設定値、すなわち第2図に対応する設定値k1~k5、 $\ell$ 1~ $\ell$ 5、m1~m5、n1~n5をテーブルとして持っている。このプログラムは第3図に示すフローチャートを実行する。すなわち、プログラムが実行され(ステップS1)、ポインタはRAM<sub>1</sub>を指示し(ステップS2)、このポインタの示す内容(この場合第2図に示すRAM<sub>1</sub>に対応する設定値k1)

をRAS用レジスタ21にロードする(ステップS3)。次にそのポインタの内容をインクリメントし(ステップS4)、ポインタの示す内容(この場合RAM<sub>1</sub>に対応する設定値 $\ell$ 1)をCOLS用レジスタ22にロードする(ステップS5)。次にそのポインタの内容をインクリメントし(ステップS6)、ポインタの示す内容(この場合RAM<sub>1</sub>に対応する設定値m1)をCAS用レジスタ23にロードする(ステップS7)。次にそのポインタの内容をインクリメントし(ステップS8)、ポインタの示す内容(この場合RAM<sub>1</sub>に対応する設定値n1)をCPLT用レジスタ24にロードする(ステップS9)。次にそのポインタの内容をインクリメントしておき(ステップS10)、テストデータをRAM<sub>1</sub>(この場合RAM<sub>1</sub>が実装されているので)に書き込みを行う(ステップS11)。この書き込みは第4図に示すタイミングで行われる。また、RAM<sub>1</sub>からは第5図に示すタイミングでデータが読出され(ステップS12)、読出しデータと書き込みデータとが

比較される(ステップS13)。この場合、設定値はRAM<sub>1</sub>に対応する設定値k1、 $\ell$ 1、m1、n1であり、RAM<sub>1</sub>に対しては制御信号(RAS信号、COLS信号、CAS信号、メモリアクセス完了信号)のタイミングが適合しないため、ステップS13での読出しデータと書き込みデータとはそのタイミングにおいては等しくならない。従って、ステップS14に移りポインタがエラーか否かを判断し、エラーであるときはエラー報告し(ステップS15)、エラーでないときはステップS3に戻る。

このステップS3に戻ったときのポインタの示す内容は実装されているRAM<sub>1</sub>に対応する設定値k2になっており、この設定値k2がRAS用レジスタ21にロードされる。その後は、前述と同様な処理を行い(ステップS4~S10)、設定値 $\ell$ 2がCOLS用レジスタ22に、設定値m2がCAS用レジスタ23に、設定値n2がCPLT用レジスタ24にそれぞれロードされ、テストデータのRAM<sub>1</sub>への書き込み(ステップ

S11)、RAM<sub>1</sub>からのデータ読出し(ステップS12)を行い、読出しデータと書き込みデータとが比較される(ステップS13)。この場合に、設定値k2、 $\ell$ 2、m2、n2がRAM<sub>1</sub>に対応しているためRAM<sub>1</sub>は所定のタイミングでアクセスされ、従って、読出しデータと書き込みデータとが等しくなり、ステップS16に移り設定値k2、 $\ell$ 2、m2、n2が各レジスタ21、22、23、24への最終の設定値として設定され、セレクト25、26、27、28によってメモリ制御リング6の出力Tk2+1が「1」の時にRAS信号が、出力T $\ell$ 2+1が「1」の時にCOLS信号が、出力Tm2+1が「1」の時にCAS信号が、出力Tn2が「1」の時にメモリアクセス完了信号がそれぞれ「1」になり、また、出力Tn2+1が「1」の時にRAS信号、COLS信号、CAS信号、メモリアクセス完了信号がそれぞれ「0」になるというRAMアクセスタイミングが設定され、所定のデータの書き込み、読出し動作が行われる。

なお、このフローチャートの説明はRAM<sub>1</sub>が実施されている場合について述べたが、実施されているRAMが、RAM<sub>1</sub>、RAM<sub>2</sub>、RAM<sub>3</sub>、RAM<sub>4</sub>、RAM<sub>5</sub>のときはステップS3～S13の処理は一回、3回、4回、5回それぞれ行われ、アクセスタイミングが設定される。

上記実施例によれば、プログラムによってアクセスタイミングの変更が可能なることから、RAMのアクセスタイミングのマージン試験を簡単にすることもできる。また、アクセスタイムの一歩遅い種類のRAMのタイミングになってしまうが、アクセスタイムの異なるRAMが混在して論理回路に実施されたとしても一応RAMアクセスが正常に行うことができる。さらに、高速な計算機において、マイクロプログラムにより主記憶のカード単位あるいはバンク単位に別々にRAMアクセスタイミングを設定するようにすれば、カード単位あるいはバンク単位でRAMの種類が異なっても、そのRAMの性能に合ったタイミングでアクセスが行われ、RAMの種類の混在による性能低下は防ぐことができる。また、設定値の決定を行うプログラムにおいて、よりきめ細かく設定値を変えて最適値を選ぶことによりRAMの製造元毎に異なる微妙なタイミングの違いを吸収するように設定値を決めるのではなく、実施されたRAMに最も適した、あるいはRAMの性能を十分に引き出せるアクセスタイミングを設定することができる。また、プログラムにおいて全RAMの全アドレスに対してアクセスタイミング設定のチェックを行うようにすれば、例えば別の種類（アクセスタイム）のRAMが混在していた場合に、どのRAMが異常であるかを検出することもできる。

なお、上記実施例においてはRAMとしてダイナミックRAMを用いた場合を示したが、スタティックRAMを用いた場合にはRAS信号及びCAS信号の代わりにチップセレクト信号（CS信号）及びアウトプットイネーブル信号（OE信号）を制御するようにすればよい。また、上記実施例ではメモリ制御リングを用いてRAMアクセスタイミングを制御したが、データロードの可能なカウ

下は防ぐことができる。また、設定値の決定を行うプログラムにおいて、よりきめ細かく設定値を変えて最適値を選ぶことによりRAMの製造元毎に異なる微妙なタイミングの違いを吸収するように設定値を決めるのではなく、実施されたRAMに最も適した、あるいはRAMの性能を十分に引き出せるアクセスタイミングを設定することができる。また、プログラムにおいて全RAMの全アドレスに対してアクセスタイミング設定のチェックを行うようにすれば、例えば別の種類（アクセスタイム）のRAMが混在していた場合に、どのRAMが異常であるかを検出することもできる。

なお、上記実施例においてはRAMとしてダイナミックRAMを用いた場合を示したが、スタティックRAMを用いた場合にはRAS信号及びCAS信号の代わりにチップセレクト信号（CS信号）及びアウトプットイネーブル信号（OE信号）を制御するようにすればよい。また、上記実施例ではメモリ制御リングを用いてRAMアクセスタイミングを制御したが、データロードの可能なカウ

ンタと、カウンタに初期値としてロードする値を設定するレジスタの組合わせをプログラム制御したい信号毎に設けることによって本発明の方式は実現できる。

#### （発明の効果）

以上のように本発明によれば、プログラムによって任意に値を設定できるレジスタを設け、このレジスタへの設定値をプログラムによって順々に変えてゆき、メモリへのテストデータの書き込み、読み出し、書き込みデータと読み出しデータとの比較を繰り返し、比較の結果が一致した時の設定値をレジスタに設定しておき、この設定値に基づいてメモリのアクセスを行うようにしたのでメモリのアクセスタイミングの設定を人手の介入なしに自動的に行うことができ、これによりアクセスタイミングの設定ミスによりメモリの性能の低下やアクセスが正常に行えないということがなくなり、従って、メモリの性能を十分に引き出すことができ、信頼性を向上させるという効果が得られ、また、従来のようにジャンパ線によるアクセスタイミン

グ設定のための人手の介入が不要となり、これにより動作試験費あるいは人権費が削減でき、より安価なデータ処理装置などを提供することができるといふ効果が得られる。

#### 4. 図面の簡単な説明

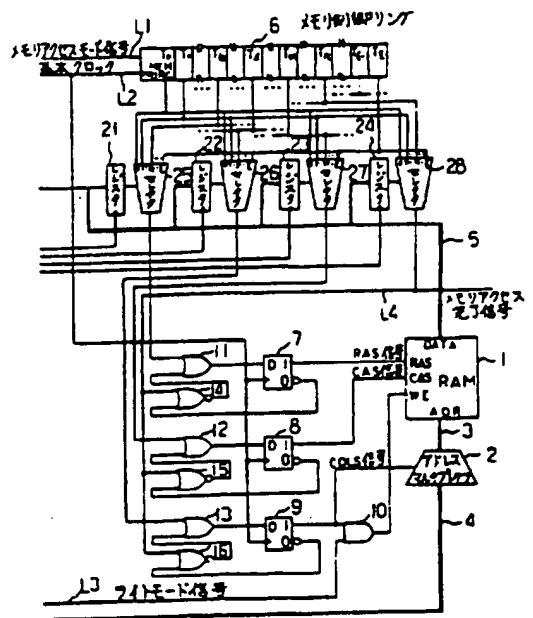
第1図はこの発明の一実施例に係るメモリアクセスタイミング設定方式を採用した論理回路のブロック図、第2図はこの実施例におけるアクセスタイミングと設定値との関係を示すタイミング図、第3図はこの実施例の動作を説明するためのフローチャート、第4図は従来例及びこの実施例のRAMに対する書き込み動作を説明するためのタイミングチャート、第5図は従来例及びこの実施例のRAMに対する読み出し動作を説明するためのタイミングチャート、第6図は従来のメモリアクセスタイミング設定方式を採用した論理回路のブロック図である。

1・・・RAM（メモリ）、2・・・アドレスマルチプレクサ、6・・・メモリ制御リング、7・・・RAS用フリップフロップ、8・・・CA

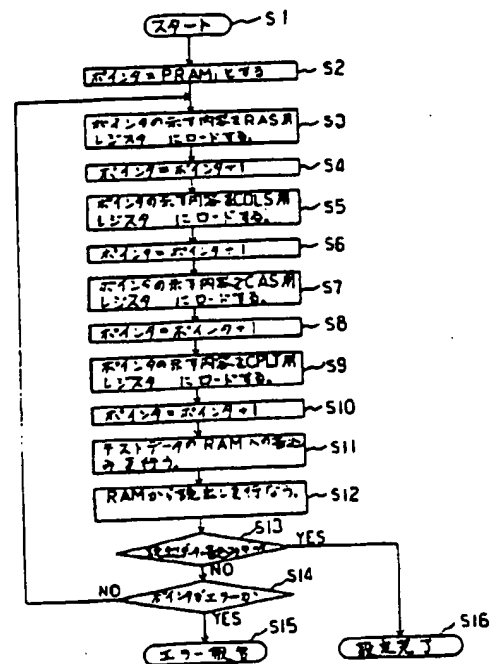
S 用フリップフロップ、9・・・COLS 用フリップフロップ、10・・・ANDゲート、11、12、13・・・ORゲート、14、15、16・・・NORゲート、21・・・RAS 用レジスタ、22・・・COLS 用レジスタ、23・・・CAS 用レジスタ、24・・・CPLT 用レジスタ、25、26、27、28・・・セレクト。

代理人 大 岩 増 雄 (ほか2名)

第 1 図



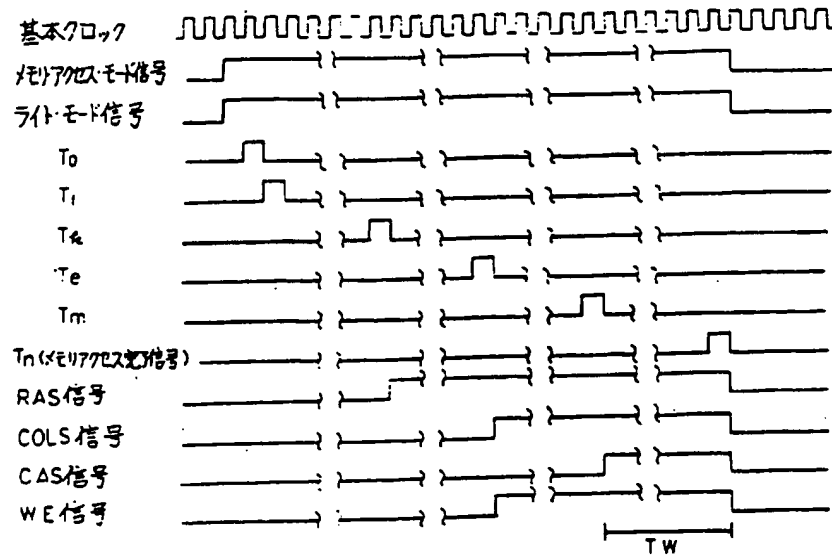
第 3 図



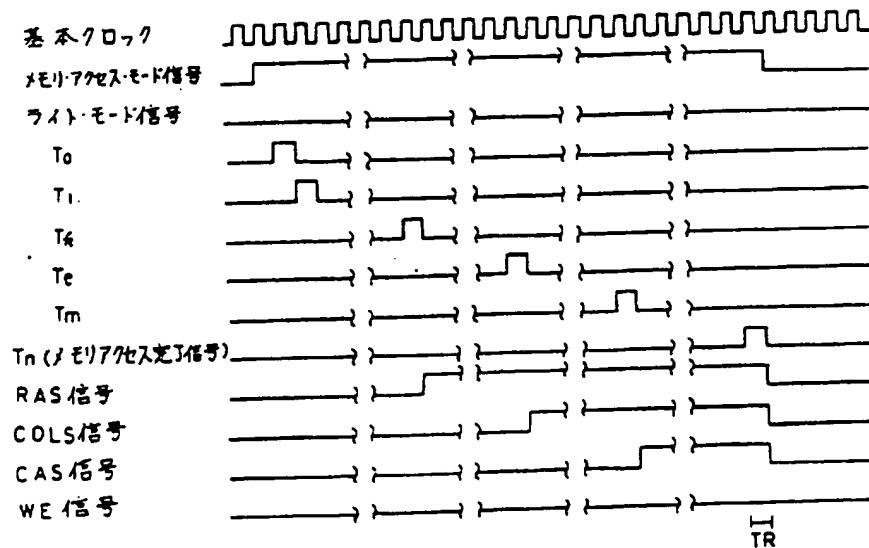
第 2 図

| RAM<br>アドレス      | RAS<br>アドレス        | CAS<br>アドレス        | CPLT<br>アドレス       | RAM<br>データ     | RAS<br>データ     | CAS<br>データ     | CPLT<br>データ    |
|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| RAM <sub>1</sub> | T <sub>11</sub> -1 | T <sub>12</sub> -1 | T <sub>13</sub> -1 | A <sub>1</sub> | B <sub>1</sub> | m <sub>1</sub> | n <sub>1</sub> |
| RAM <sub>2</sub> | T <sub>21</sub> -1 | T <sub>22</sub> -1 | T <sub>23</sub> -1 | A <sub>2</sub> | B <sub>2</sub> | m <sub>2</sub> | n <sub>2</sub> |
| RAM <sub>3</sub> | T <sub>31</sub> -1 | T <sub>32</sub> -1 | T <sub>33</sub> -1 | A <sub>3</sub> | B <sub>3</sub> | m <sub>3</sub> | n <sub>3</sub> |
| RAM <sub>4</sub> | T <sub>41</sub> -1 | T <sub>42</sub> -1 | T <sub>43</sub> -1 | A <sub>4</sub> | B <sub>4</sub> | m <sub>4</sub> | n <sub>4</sub> |
| RAM <sub>5</sub> | T <sub>51</sub> -1 | T <sub>52</sub> -1 | T <sub>53</sub> -1 | A <sub>5</sub> | B <sub>5</sub> | m <sub>5</sub> | n <sub>5</sub> |

第4図

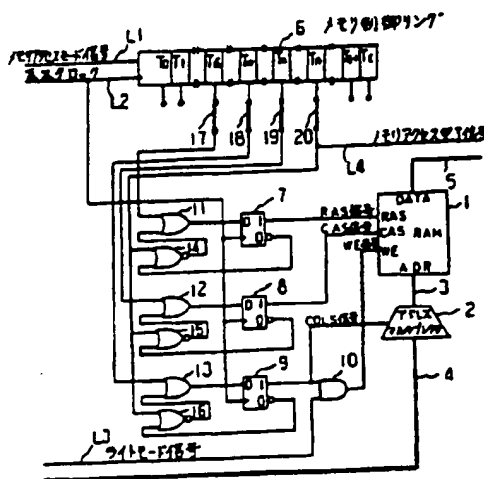


第5図





第 6 図



- (19) Japan Patent Office (JP)  
(11) Patent Application Disclosure  
(12) Unexamined Patent Application Publication (A) S63-217452

|                            | Identification No. | File No.  |
|----------------------------|--------------------|-----------|
| (51) Int. Cl. <sup>4</sup> |                    | A-7737-5B |
| G 06 F 12/16               | 310                | 7341-5B   |
| G 11 C 7/00                | 313                | A-8522-5B |
| 11/34                      | 371                | H-7737-5B |
| 29/00                      | 303                |           |

(43) Disclosure Date: September 9, 1988

No examination requested  
Number of inventions: 1 (Total of 8 pages)

---

(54) Name of Invention: Method for Setting Memory Access Timing

- (21) Patent Application S62-51509  
(22) Application Date: March 6, 1987

(72) Inventor: Takashi Saito  
Mitsubishi Electric Company, Ltd., Computer Manufacturing

Facilities

- (71) Applicant: 325 Uemachiya, Kamakura City, Kanagawa Prefecture  
Mitsubishi Electric Company, Ltd.  
2-2-3 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo
- (74) Representative: Masao Oiwa, Patent Attorney, and two others

---

Details

1. Name of Invention  
Method for Setting Memory Access Timing

2. Patent Claims

A method for setting memory access timing in a logical circuit that accesses memory, characterized by the provision of a register for which a variety of values can be set by a program, by repetitively having the value set in said register be changed sequentially by the program and performing test writes to the memory and test reads from the memory where the data that is written is compared to the data that is read, by setting to the register the setting that was in effect when the results of the comparison matched, and by accessing the memory based on said setting.

### 3. Detailed Explanation of the Invention

#### [Area of Application in Industry]

This invention pertains to a method for setting the memory access timing in order to set the access timing for random access memory (hereinafter abbreviated "RAM") that is equipped in, for example, data processing devices.

#### [Prior Art]

Figure 6 shows a block diagram of the logic circuits that use the conventional memory access timing set method. In the figure, 1 is RAM (using the example where a dynamic RAM is used), 2 is an address multiplexer, 3 is a multiplexed address bus connecting the RAM 1 with the address multiplexer 2, 4 is an address bus connected to the address multiplexer 2, 5 is a data bus connected to the RAM 1, and 6 is a memory control ring. In addition, 7 is a flipflop for generating the row address select signal (RAS signal), hereinafter abbreviated "RAS flipflop," 8 is a flipflop for generating the column address select signal (CAS signal), hereinafter abbreviated "CAS flipflop," 9 is a flipflop for generating the column select signal (COLS signal), hereinafter abbreviated "COLS flipflop," 10 is an AND gate, 11, 12, and 13 are OR gates, 14, 15, and 16 are NOR gates, and 17, 18, 19, and 20 are jumper lines for selecting the output from the memory control ring 6 that is to be used. Additionally, for simplicity in the explanation, the logic circuits for refreshing the RAM 1 are not shown.

The operation of this method is described below. In this explanation, "1" indicates either the active level or the high logic level, while "0" indicates the inactive level or the low logic level. The memory control ring 6 is enabled and placed in an operational state when the memory access mode signal of line L1 goes to "1," and, synchronized to the master clock on line L2, the outputs T0, T1, . . . Tk, . . . , Tl, . . . , Tm, . . . , Tn, . . . , Te-1, Te are sequentially set to "1" in the state transitions. When the memory access mode signal is "0," all outputs T0 to Te from the memory control ring 6 go to "0." The respective flipflops 7, 8, and 9 each output their latched signals from the output terminal 1 on each, and output the inverse of the latched signal on output terminal 0 of each. The RAS signal, CAS signal, and WE signal applied, respectively, to the RAS, CAS, and WE terminals of RAM 1 are each active at "1." In addition, in this conventional example, jumper lines 17, 18, 19, and 20 are set by hand, selecting, respectively, outputs Tk, Tl, Tm, and Tn of the memory control ring 6.

Below will be explained an example of an operation to write to the RAM 1, referencing the timing chart shown in Figure 4. When the memory access commences, both the memory access mode signal on Line L1 and the write mode signal on Line 3 both go to "1." At this time, the address is applied to the address bus 4, the row address is selected by the address multiplexer 2 and is output on the multiplexed address bus 3. At this time the write data is applied to data bus 5.

In this way, the row address and write data are applied, and, as described above, the memory access mode signal of line L1 is at "1," so the memory control ring 6 commences operations, and there are state transitions so that outputs T0, T1, . . . Tk sequentially go to "1." When Tk goes to "1," the "1" output Tk is applied to terminal D of the RAS flipflop 7 through the jumper line 17 and OR gate 11, and when output Tk + 1 of memory control ring 6 goes to "1," the RAS signal that is output from output terminal 1 of the RAS flipflop 7 goes to "1." In addition, at this time the inverted signal that is output from the output terminal 0 of the RAS flipflop 7 goes to "0," causing the output of the NOR gate 14 to go to "1," and the output of the OR gate 11 to go to "1," causing the output of the RAS flipflop 7, or in other words the RAS signal, to be held at "1" even if the memory control ring 6 status advances. When the "1" output of the memory control ring 6 transitions from Tl to Tl + 1, the same operation as described above causes the COLS signal, which is the output of the COLS flipflop 9, to be held at "1." This COLS signal causes the address multiplexer 2 to output the column address to the multiplexed address bus 3, and the output of the AND gate 10, or in other words the WE signal that is applied to the RAM 1 terminal WE, goes to "1," placing RAM 1 in write mode. When the "1" output of the memory control ring 6 transitions from Tm to Tm + 1, a operation similar to what was described above causes the output of the CAS flipflop 8, or in other words the CAS signal, to be held at "1." As described above, the RAS signal, the CAS signal, the WE signal, and the COLS signal all go to "1," putting all conditions in place to write to the RAM 1; hence the data write operation is performed, the status of the memory control ring 6 advances, and the write operation is concluded at the point in time where the output Tn - 1 goes to "1." When the output Tn of the memory control ring 6, or in other words the memory access complete signal on line 4, goes to "1" followed by the output Tn + 1 going to "1," the memory access mode signal on line L1 and the write mode signal on line L3 both go to "0," causing the outputs of the NOR gates 14, 15, and 16, along with the outputs of the OR gates 11, 12, and 13 to go to "0"; consequently, the RAS signal, the CAS signal, and the COLS signal all go to "0," completing the operation for writing to the RAM 1. Note that TW shown in Figure 4 is the period over which the write mode conditions are fulfilled by the control signals to the RAM 1 (i.e., the memory access mode signal, the write mode signal, the RAS signal, the COLS signal, the CAS signal, and the WE signal).

On the other hand, in the operations to read from the RAM 1, as shown in Figure 5, the write mode signal and the WE signal go to "0," and at the point in time when the output Tn - 1 of the memory control ring 6 ceases to output "1," or in other words, at the point in time when the output Tn goes to "1," the output data that is read from the RAM 1 is assumed to be set, and with the output Tn, the data on the data bus 5 is accepted. At this time, when, in operations similar to the write operations described above the output Tn + 1 of the memory control ring 6 is to go to "1," all control signals become inactive and the operations to read from the

RAM 1 are terminated. Note that the TR shown in Figure 5 is the period of time over which the control signals to the RAM 1 fulfill the read mode conditions.

**[Problems Solved by this Invention]**

In the conventional method for setting the memory access timing, the part that sets the RAM access timing is set by jumper lines, and thus it requires a manual intervention to set the jumper lines. Additionally, generally RAMs have a variety of different access times, and when the type of RAM that is used is changed it is necessary to change the settings of the jumpers in order to change the access timing, and, as a result, the RAM cannot be accessed correctly if the setting is incorrect or there may also be the problem that, even if RAM that can operate at high speeds is used, the actual performance of the RAM will not be good if the access timing used is for low speed RAM.

This invention was created in order to solve the types of problems described above, and its objective is to provide a method of setting the memory access timing that automatically sets the access timing without any manual intervention, making it possible to exploit the full capabilities of the RAM and to improve reliability.

**[Method by Which the Problems are Solved]**

The method of setting the memory access timing in this invention is characterized by the logic circuits that access the memory (RAM 1) being equipped with registers 21, 22, 23, and 24 that can be set to a variety of values by a program, where the values that are set to these registers 21, 22, 23, and 24 are repetitively changed sequentially by the program at which time test data is written to and read from the memory (RAM 1) and comparisons are made between the write data and the read data where the values that were set when the results of the comparison indicates a match are set to registers 21, 22, 23, and 24, so that the access to the memory (RAM 1) is performed based on these settings.

**[Operation]**

The registers 21, 22, 23, and 24 in this invention are set to any given value by the program, and the memory (RAM 1) is accessed based on the various settings that have been set, at which time test data is written to the memory and read from the memory. The data written as this test data, and the data that is read, are compared to each other for each of the access operations that are based on the respective settings, and when the data that is written to the memory (RAM 1) matches the data that is read from the memory, then the settings are set as the final settings in the registers 21, 22, 23, and 24, and after that time the access timing is determined based on these final settings and the memory (RAM 1) is accessed with that access timing when the specific data write and data read operations are performed.

[Example of Embodiment]

An Example of Embodiment of this invention is explained below based on the figures. Figure 1 is a block diagram of logic circuits that use the method for setting the memory access timing in this Embodiment of the invention. In Figure 1 the same symbols are used as corresponding to the structural elements shown in Figure 6, so the explanations are omitted here. In Figure 1, 21 is the register for determining the timing with which the RAS signal is produced (hereinafter termed the "RAS register"), 22 is the register for determining the timing with which the COLS signal is produced (hereinafter termed the "COLS register"), 23 is the register for determining the timing with which the CAS signal is produced (hereinafter termed the "CAS register"), 24 is the register for determining the timing with which the memory access complete signal will be produced (hereinafter termed the "CPLT register"), 25, 26, 27, and 28 are the selectors that select one output from output T0 to Te of the  $e + 1$  registers in memory control ring 6.

Next the operation will be explained. Let us assume that there are five different types of RAM that can be obtained, and, the access timing on these types of RAM, from fastest to slowest, are RAM<sub>1</sub>, RAM<sub>2</sub>, RAM<sub>3</sub>, RAM<sub>4</sub>, and RAM<sub>5</sub>. The respective RAMs can be accessed correctly by outputting the RAS signals, COLS signals, CAS signals, and memory access complete signals shown in the timing diagram of Figure 2. The explanation described below considers the operations when RAM<sub>2</sub> is installed.

The table has the settings for the RAS register 21, the COLS register 22, the CAS register 23, and the CPLT register 24, or in other words, the settings for k1 to k5, l1 to l5, m1 to m5, and n1 to n5 in Figure 2, are stored as a table. This program executes the flow chart shown in Figure 3. In other words, the program is executed (Step S1), the pointer indicates RAM<sub>1</sub> (Step S2), the information indicated by the pointer (in this case, the settings k1 corresponding to RAM<sub>1</sub> shown in Figure 2) are loaded into RAS register 21 (Step S3), the pointer is then incremented (Step S4), the information indicated by the pointer (in this case, the setting l1 corresponding to RAM<sub>1</sub>) is loaded into the COLS register 22 (Step S5), the pointer is incremented (Step S6), the information indicated by the pointer (in this case, the setting m1 corresponding to RAM<sub>1</sub>) is loaded into the CAS register 23 (Step S7), the pointer is incremented (Step S8), the information indicated by the pointer (in this case the setting n1 corresponding to RAM<sub>1</sub>) is loaded into the CPLT register 24 (Step S9), the pointer is incremented (Step S10), the test data is written into the RAM<sub>2</sub> (because in this case it is RAM<sub>2</sub> that is installed) (Step S11), and the write operation is performed with the timing shown in Figure 4. Then the data is read from the RAM<sub>2</sub> with the timing shown in Figure 5 (Step S12), and the data that was read is compared to the data that was written (Step S13). In this case, the settings are the settings k1, l1, m1, and n1 that correspond to RAM<sub>1</sub>. These settings do not match the timing for the control signals (the RAS signal, the COLS signal, the CAS signal, and the memory access complete signal) for RAM<sub>2</sub>, so the comparison in Step 13 of the data that was read and the data that

was written does not indicate a match with this timing. As a result, the program continues to Step S14, and a check is made for a pointer error. If there is an error then an error report is made (Step S15), and if there is no error, then the program returns to Step S3.

The information indicated by the pointer when the program returns to Step S3 is the setting  $k_2$  that corresponds to the  $RAM_2$  that is installed, and this setting  $k_2$  is loaded into the RAS register 21. After that, the same process that is described above is performed (Steps S4 through S10) and the setting  $l_2$  is loaded into the COLS register 22, the setting  $m_2$  is loaded into the CAS register 23, the setting  $n_2$  is loaded into the CPLT register 24, the test data is written to the  $RAM_2$  (Step S11) the data is read from the  $RAM_2$  (Step S12), and the data that was written is compared to the data that was read (Step S13). In this case, the RAM access timing is set so that, when the operations for writing and reading the specified data are performed, the settings  $k_2$ ,  $l_2$ ,  $m_2$ , and  $n_2$  correspond to  $RAM_2$ , and thus  $RAM_2$  is accessed with the appropriate timing and the data that was read matches the data that was written so the program continues to Step 16 and the settings  $k_2$ ,  $g_2$ ,  $m_2$ , and  $n_2$  are set into registers 21, 22, 23, and 24 as the final settings, and selectors 25, 26, 27, and 28 cause the RAS signal to be "1" when the output  $Tk_2 + 1$  of the memory control ring 6 is "1," the COLS signal to be "1" when the output  $Tl_2 + 1$  is "1," the CAS signal to be "1" when the output  $Tm_2 + 1$  is "1," and the memory access complete signal to be "1" when the output  $Tn_2$  is "1." In addition, when the output  $Tn_2 + 1$  is "1" the RAS signal, the COLS signal, the CAS signal and the memory access complete signal all go to "0."

While the explanation of the flow chart was based on the assumption that  $RAM_2$  was installed, if  $RAM_1$ ,  $RAM_3$ ,  $RAM_4$ , or  $RAM_5$  were installed instead, the processes in Steps 3 through 13 would be performed once, three times, four times, or five times, respectively, to set the access timing.

Because in the Example of Embodiment described above, it is possible to change the access timing using a program, it is easy to perform RAM access timing margin tests. In addition, although the timing will be that for the type of RAM with the slowest access time, even if a mixture of RAMs with different access times are installed in the logic circuits, the RAM can still be accessed correctly. In addition, if in high-speed computers, the RAM access timing is set individually by the card unit or the bank unit of main memory, then even if the type of RAM is different on different card units or bank units, the timing can be performed to match the capability of the RAM, making it possible to prevent any impediments to performance by mixing types of RAM. Additionally, in the program that determines the settings, it is possible to set the access timing that is optimized for the RAM that is installed and that is able to fully exploit the capabilities of the RAM through selecting the optimal values through changing the settings in even finer increments, rather than determining the settings in such a way as to compensate for the minor timing differences between the various RAM manufacturing locations. If in the program access timing setting checks are

performed for all addresses of all RAM, then it is possible to identify the RAM that has errors even if different types of RAM (with different access times) are mixed.

Furthermore, in the Example of Embodiment described above, dynamic RAM was used as the example, when static RAM is used then the chip select (CS) signal and the output enable (OE) signal can be controlled instead of the RAS signal and the CAS signal. Although in the Example of Embodiment above a memory control ring was used to control the RAM access timing, the method of this invention can also be performed by establishing for each signal to be controlled by the program a combination of a counter into which data can be loaded and a register that sets the value that is loaded into the counter as the initial value.

#### [Effects of the Invention]

Using the invention described above, it is possible to set the memory access timing automatically without a manual intervention because a register is provided wherein a variety of different values can be set by the program where the values that are set into this register are repetitively changed sequentially, test data is written to the memory and then read from the memory, and the data that was written is compared to the data that is read and the values that were set when the results of the comparison indicate a match are set to the register so that the memory is accessed based on those settings. It is able to prevent any disruptions to memory performance or situations where access cannot be performed normally due to incorrect settings in the access timing, making it possible to fully exploit the capabilities of the memory, and thus possible to obtain the effect of increased reliability; in addition, it is no longer necessary to have a manual intervention in order to set the access timing using jumper lines as it has been conventionally, thus making it possible to reduce operating test expenses and reduce labor expenses, and making it possible to provide data processing equipment less expensively.

#### 4. Simple Explanation of Figures

Figure 1 is a block diagram of the logic circuits that use the method for setting the memory access timing in the Example of Embodiment of this invention.

Figure 2 is a timing diagram showing the relationship between the settings and the access timing in this Example of Embodiment.

Figure 3 is a flow chart used for explaining the operation of the Example of Embodiment.

Figure 4 is a timing chart for explaining a conventional example and explaining the operations for writing to the RAM in the Example of Embodiment thereof.

Figure 5 is a timing chart for explaining the conventional example and for explaining the operations for reading from the RAM in an example thereof.

Figure 6 is a block diagram of the logic circuits that use the conventional method of setting the memory access timing.



- 1: RAM (memory)
- 2: Address multiplexer
- 6: Memory control ring
- 7: RAS flipflop
- 8: CAS flipflop
- 9: COLS flipflop
- 10: AND gate
- 11, 12, 13: OR gates
- 14, 15, 16: NOR gates
- 21: RAS register
- 22: COLS register
- 23: CAS register
- 24: CPLT register
- 25, 26, 27, 28: Selectors

Representative: Masao Oiwa, and two others

Figure 1

- [L1] Memory access mode signal
- [L2] Fundamental clock
- [6] Memory control ring
- [21] Register
- [25] Selector
- [22] Register
- [26] Selector
- [23] Register
- [27] Selector
- [24] Register
- [28] Selector
- [L4] Memory access complete signal
- [Under 14] RAS signal
- CAS signal
- [2] Address multiplexer
- [Above 10] COLS signal
- [L3] Write mode signal

Figure 2

[INSERT TABLE]

| Type of RAM | RAS signal timing | COLS signal timing | CAS signal timing | Memory access complete signal timing | Settings for the registers for generating the timing |         |         |         |
|-------------|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------------------------|--|---------|---------|---------|
|             |                   |                    |                   |                                      | Registe  | Registe | Registe | Registe |
|             |                   |                    |                   |                                      |  |         |         |         |

|                          |  |  |  |  |      |      |      |      |
|--------------------------|--|--|--|--|------|------|------|------|
|                          |  |  |  |  | r 21 | r 22 | r 23 | r 24 |
| [see source for English] |  |  |  |  |      |      |      |      |

Figure 3

- S1 Start
- S2 Set pointer = PRAM 1
- S3 Load the information indicated by the pointer into the RAS register
- S4 Pointer = pointer + 1
- S5 Load the information indicated by the pointer into the COLS register
- S6 Pointer = pointer + 1
- S7 Load the information indicated by the pointer into the CAS register
- S8 Pointer = pointer + 1
- S9 Load the information indicated by the pointer into the CPLT register
- S10 Pointer = pointer + 1
- S11 Write test data to the RAM
- S12 Read test data from the RAM
- S13 Compare the read data to the write data
- S14 Is there a pointer error?
- S15 Error report
- S16 Settings complete

Figure 4

Fundamental clock  
 Memory access mode signal  
 Write mode signal  
 T0  
 T1  
 Tk  
 Te  
 Tm  
 Tn (Memory access complete signal)  
 RAS signal  
 COLS signal  
 CAS signal  
 WE signal

Figure 5

Fundamental clock  
 Memory access mode signal  
 Write mode signal  
 T0  
 T1  
 Tk  
 Te  
 Tm  
 Tn (Memory access complete signal)

RAS signal  
COLS signal  
CAS signal  
WE signal

Figure 6

[L1] Memory access mode signal  
[L2] Fundamental clock  
[6] Memory control ring  
[L4] Memory access complete signal  
[Under L4] RAS signal  
CAS signal  
WE signal  
[2] Address multiplexer  
[Above 10] COLS signal  
[L3] Write mode signal